

with コロナ時代における子どもたちの 資質・能力を育成する協働学習の工夫

教科指導と生徒指導を統合する チーム学校の教育実践

開催日・方法 2021年12月下旬よりオンデマンド配信

参加申込み <https://forms.gle/sroirSHBhbVaravE8>

よりお申し込みください。

どなたでも参加できます（無料）。



▶ 2021年度、コロナ問題は夏場にかけて悪化したものの、秋口からはかなり落ち着いてきた。ただ、2022年度も予断を許さない状態である。このような中で、2021年度にだされた『令和の日本型学校教育の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（答申）』（中央教育審議会、2021）では、我が国の学校教育におけるデジタル化の遅れへの対応と、新型コロナウイルス感染症の感染防止策と学校教育活動の両立などが課題とされていた。2020年度の本学会の公開シンポジウムでは、300名を超える参加者から数多くの質問や意見をいただいた。そこで2021年度も、コロナ禍において、感染防止策とICTの積極的な利活用、協働学習の推進を、学校全体としてどう統合して展開していくのかを検討したいと考え、本シンポジウムを企画した。現場で実践されている方々から話題提供をしていただき、それに教育心理学・学校臨床心理学の研究者がコメントを行う形で、本シンポジウムの参加者がそれぞれの実践現場において、子どもたちの学びを促進する知恵を引き出すきっかけになればと願うものである。

話題提供

ICTを活用した協働学習

後藤正樹（株式会社コードタクト）

子どもたちの協働関係を構築する教科指導

横井武志（田尻町立中学校）

子どもたちの協働的な学びを支える学校長のリーダーシップ

細川克寿（大阪市立東田辺小学校）

藤倉憲一（太成学院大学）

地域・行政を巻き込んだICTを活用した学習支援の取り組み

坂本静泰（奈良市立春日中学校）

指定討論

牧郁子（大阪教育大学）

田島充士（東京外国語大学）

苅間澤勇人（会津大学）

熊谷圭二郎（神奈川県立保健福祉大学）

司会

河村茂雄（早稲田大学）



一般社団法人 **日本教育心理学会**

The Japanese Association of Educational Psychology

113-0033 東京都文京区本郷5-24-6 本郷大原ビル7F

TEL:03-3818-1534 E-mail:office@edupsych.jp

<https://www.edupsych.jp>